

2021年08月31日

内閣府規制改革推進会議農林水産ワーキング

\*\*\*\*\*ご依頼いただいた、下記テーマに関し説明5分&資料提出

- ・日本の林業が抱える課題全般について
- ・森林資源の適切な管理に関する課題について

\*\*\*\*\*

- ・政策で、林業の成長産業化と謳われながら、例えば
  - ・・・新たに公的管理下におく森林面積210万haの増加
  - ・・・森林環境税620億円

2017年の骨太の方針（経済財政運営と改革の基本方針2017）

「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設に向けて、地方公共団体の意見も踏まえながら……」

1989年から2018年までの30年間

- |                  |           |
|------------------|-----------|
| ・木材生産額           | 10兆6716億円 |
| ・行政投資実績額、林道と造林のみ | 12兆288億円  |

この他の行政投資実績として治山 等

また他に林業機械購入1/2補助 等々

そして近年、急増した消費は、最も取引価格の低い燃料

森林率7割、森林面積2500万ha、蓄積量52億m<sup>3</sup>と推計、そして毎年成長し増加  
全国各地には、まだ美しい山林と産業文化、技能が残る

拙著「森林で日本は蘇る」「森林の崩壊」（ともに新潮新書）より

慶應義塾大学 白井